

平成30年度上半期における海難救助等の状況

平成30年4月～9月までの間に、全国で163件の海難救助に出動し、144名、65隻を救助しました。

また、広島県水難救済会の救難所が西日本豪雨災害発生時に出動しました。

1. 海難救助

全国各地の地方水難救済会の救難所が82件の船舶海難及び81件の人身事故事案に対し、339隻の救助船、1,021名の救助員が出動し、144名の人命と65隻を救助しました。

昨年度同時期と比較し、出動海難件数は4件減、救助人命・船舶は29名減、3隻減でした。

主な出動件数の内訳は次の通りです。

・船舶海難：82件

衝突：1件、乗揚げ：9件、転覆：13件、浸水：5件、機関故障：28件、推進器障害：8件、舵故障：1件、沈没：1件、漂流：12件、行方不明：3件、その他：1件

・人身事故：81件

船上からの落水：10件、陸上からの落水：24件、遊泳中：25件、潜水中：6件、サーフィン：6件、ボードセーリング：1件、水上オートバイ：1件、孤立：2件、病気：2件、その他：4件

2. 災害救援活動

今年7月の、西日本豪雨災害では各地で甚大な被害が発生しましたが、広島県水難救済会の5救難所は、広島県呉市、福山市、安芸郡坂町からの要請を受けて、延べ12日間に12隻の救助船、24名の救難所員が出動し、緊急物資輸送や復旧要員輸送、漂流物の撤去活動等を行いました。